

今話題の「社内インディー（独立）」制度

社員との雇用関係をいったん解消し、外注先として再契約する独立した元社員（アントレ）と請負契約を結ぶ制度です。

目的 1 人財の活性化

【背景】働き方に対する意識の変化

- ☛ 自分の収入は自分で決めることができるという動機付け
- ☛ 自己裁量により仕事を決める・進めることができる
- ☛ 好きな仕事を続けていくことができる
- ☛ ライフスタイルの変化に対応

⇒ やる気(モチベーション)の向上 ⇒ 技術・知識の向上

⇒ サービス(質)の向上 ⇒ 付加価値の向上

目的 2 コストの削減

【背景】人件費の高騰→人件費を固定費から流動費へ

- ☛ 時間外労働費の削減
- ☛ 社会保険料の削減
- ☛ 教育訓練費の削減
- ☛ 福利厚生費の削減による人件費率の低下

目的 3 組織改革の推進

【背景】個別化・高度化したクライアントのニーズに素早く対応できる組織に

- ☛ 事業展開の迅速化
- ☛ コア業務への集中

● 企業側のメリット

優秀な人財の確保・定着とその能力の最大限の活用が図れる

人財のモチベーションアップが図れる（アントレは自分の力量により収入がアップするので “やる気” が向上する）

人件費を固定費から流動費へ（仕事の分量により支払額が決まるので合理的、また、社会保険料等の企業負担を減らせる）

● アントレ(働く側)のメリット

自分の働き方により収入がアップする

技術・知識の向上が収入に直結するため、プロ意識が芽生える

新しい技術・知識の習得・向上への意識改革が図られる

自由な働き方が望める

長期休暇取得も可能で、生活にゆとりがもてる

当事務所では、「社内インディー制度（ビジネスモデル特許）」のコンサルティングを行っています。